

平成 30 年度

# 運営協議会報告書



**鶴岡高専**

National Institute of Technology, Tsuruoka College

平成 31 年 3 月

独立行政法人国立高等専門学校機構

鶴岡工業高等専門学校



## はじめに

高等教育機関が果たすべき役割は教育と研究と社会貢献です。鶴岡高専ではこれらを有機的に融合させ、地域や企業が抱える課題・問題等の解決を、学生の教育、あるいは教職員との共同研究を介して結果を出し、社会のために役立てることを考えております。

本年度は産学連携を一層充実させるべく、主催するイブニングセミナーを起点として、地域のニーズや鶴岡高専のシーズに適合する幾つかの研究会の立ち上げを行いました。この研究会を通じて今まで以上に地域企業との連携を密にし、企業個別の課題へ対応し、そして共同研究を実施していこうと考えております。さらに得られた研究成果の地域移転・社会実装ばかりではなく、地方都市が抱える地域課題を解決する共同研究プロジェクトを実施して行くと共に、進出企業と地場企業が共創できる場を創造し、この庄内地域を県内有数の工業地帯にしたいものと考えております。具体的な地域貢献としては、社会に貢献できる人材を如何に多く地域の企業に輩出していくことが大切であると考えます。そのためにCO-OP教育を一層充実したいと考えております。現在までこのCO-OP教育を経験した学生が4年間で11名、地場の企業に就職しておりますが、彼らは即戦力に近い実力を入社時から有しているとの好評を得ております。

また、国際交流におきましてはネイティブな英語圏であるニュージーランドを留学先として開拓し、2年前より学生を語学研修に送り込んでおります。なお、在学生の海外留学率は25%、海外の協定校は20校を数え、これらの数字は県内の高等教育機関では飛び抜けて一位です。さらに、新プログラムのアドバンスト・ステューデント制度の学生が長期学外教育を受けるための台湾やオーストラリア等の海外の大学との連携も着々と進めております。この海外における長期学外研修は4年前に再編した教育体制の目玉であり、この研修を経験した学生は今まで以上の優秀な技術者・研究者として認知される存在になるものと確信しております。

運営協議会は本年度からメンバーを一新させていただきました。今まで以上に活発で建設的な意見をいただくことが出来、大変嬉しく思っております。また、昨年度まで委員をお務めくださいました方々にはこの紙面をお借りいたしまして深く感謝いたします。

平成31年3月

鶴岡工業高等専門学校  
校長 高橋 幸司

# 目次

## はじめに

### I. 平成30年度鶴岡工業高等専門学校運営協議会

1. 運営協議会日程 .....	1
2. 鶴岡工業高等専門学校運営協議会委員出席者.....	2
3. 学校関係出席者 .....	3
4. 議事 .....	4
5. 評価の結果 .....	47

### II. 平成30年度鶴岡工業高等専門学校運営協議会資料

# I. 平成 30 年度鶴岡工業高等専門学校運営協議会

## 1. 運営協議会日程

日 時： 平成30年12月11日（火） 13時30分から15時40分まで

場 所： 鶴岡工業高等専門学校 大会議室

次 第

進 行 順 序	説 明 事 項 等	説 明 者 等
開 会		進行・総務課長
校長挨拶		校 長
運営協議会委員紹介		校 長
本校出席者紹介		総務課長
日程及び配付用の資料の説明		総務課長
委員長（議長）選出		総務課長
委員長挨拶		委 員 長
事項別説明①	I 教務に関する事項 II 学生に関する事項 III 専攻科に関する事項 《 質疑応答 》	教務主事 学生主事 専攻科長
休 憩		
事項別説明②	IV 国際交流に関する事項 V 地域連携に関する事項 VI 管理運営に関する事項 《 質疑応答 》	国際交流支援室長 地域連携センター長 事務部長
各委員からの総括	『1人2分』	各 委 員
委員長まとめ		委 員 長
校長お礼		校 長
閉会挨拶		総務課長

## 2. 鶴岡工業高等専門学校運営協議会委員出席者

区 分	現 職	氏 名
1号委員	鶴岡商工会議所会頭	ハヤカ ヲシ 早坂 剛
	山形県庄内総合支庁長	ヌマザリ ヲシ 川 沼澤 好徳
	田川地区中学校長会会長 (鶴岡市立鶴岡第三中学校長)	カサキ シ 岡崎 津
2号委員	長岡技術科学大学長	アズマ ノブ ヒロ 東 信彦
	慶應義塾大学先端生命科学研究所所長	トミ タ マサル 富田 勝
3号委員	鶴岡高専技術振興会会長 (鶴岡市長)	シカガ オサム 皆川 治
	鶴岡高専峰友会副会長	サイ トウ ミツル 齋藤 満
校 長	鶴岡工業高等専門学校長	タカハシ コウジ 高橋 幸司

(敬称省略)

### 3. 学校関係出席者

職 名	氏 名
副校長（総務・専攻科担当）	佐 藤 貴 哉
副校長（教務担当）／教務主事／創造工学科長	神 田 和 也
副校長（学生担当）／学生主事	渡 部 誠 二
副校長（寮務担当）／寮務主事	瀬 川 透
副校長（研究・地域連携担当）／地域連携センター長／ 教育研究技術支援センター長	吉 木 宏 之
基盤教育グループ長	上 松 和 弘
情報コース長	宍 戸 道 明
化学・生物コース長	佐 藤 司
総合メディアセンター長	佐 藤 淳
保健センター長	吉 住 圭 市
国際交流支援室長	佐 藤 貴 哉
FD委員会委員長	本 間 浩 二
事務部長	縣 猛 男
総務課長	千 葉 善 弘
学生課長	佐 藤 俊 次
総務課課長補佐（総務担当）	齋 藤 靖
総務課企画・連携係長	庄 司 由紀彦